

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪 非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	6 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 生活史シート、又はアンケートを初期の面接時にケアマネがご家族に渡す。 ご本人にはご利用初期にケース担当が、アンケートに沿って聞き取りをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	アンケートに沿って聞き取りができていない。どのタイミングでアンケートを使って聞き取りを行うか明確になっていない。利用するにあたり、契約書類などで多くなってしまい、ご利用者本人やご家族の負担を考えると、面接時に配布ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	8	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規のご利用者の情報を事前に把握し、ニーズに応えるように準備をしてから支援している。 サービス内容を理解して、必要としている支援を提供できている。 初回利用されたご利用者への声掛けや訴えを傾聴し、コミュニケーションを取りながら不安や緊張を取り除くよう対応した。 情報ファイルで事前の情報を共有できていた。また、ケース記録をチェックしていた。 リハビリを希望されるご利用者に対し、散歩などを勧めることで利用意欲が維持できるように働きかけていた。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> アンケートに沿って聞き取りができていなかった。 →アンケートを使って、どのタイミングで聞き取りをするか曖昧になっている。 初期の面接時、ケアマネがアンケートを渡せていない。 →アンケートが作成できていない(初期) →初期は、契約関係書類、ケアプラン関係書類などで書類が多く、さらに書類を追加することで業務が煩雑になること、ご利用者・ご家族に負担がかかってしまう。 新規ご利用者へのアンケートの情報共有ができていない。独居のご利用者も多いため、関係づくりのための配慮に至っていない。 →独居のご利用者が多いこともあり、不安を聞き取る機会が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
初期支援のためのアンケート期間を1か月にして時間をかけてする。ケース担当だけでなく、アンケートを全員で記入する。※別紙参照	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 11月 21日 (19:30 ~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	6人	2人	13人

前回の改善計画	毎月2～3名のアセスメント時に小規模多機能計画も添付して、「～したい」を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のアセスメント時に小規模多機能計画を添付できていなかった。アセスメント書類を準備する際、何を用意するのか明確に掲示などできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	12	0	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	2	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	3	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングで確認している。また、毎日のケアプランチェックで把握できている。 ・ケース担当から毎月のアセスメントを実施した結果を共有できている。 ・アセスメントを確認し、理解するように努めている。 「～したい」と思っていることを分かろうと努めている。できる時に積極的に声掛けを実施している。 ・実施モニタリングをすることで、ミーティングで話し合った内容をもり込むことができている。 ・ケア会議、日々の職員間の会話の中で積極的に発言している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の目標を把握できていない人が多い。 →ご利用者一人ひとりの目標を知る、把握ができていなかった。 ・振り返りができていない。できなかった理由等を話し合えていない。 →職員同士の共通認識が足りていない。 ・小規模多機能計画を添付できていなかった。また、当面の目標がわかっていない。 →添付することができていない。改善計画に挙げていたことを意識できていなかった。 →アセスメントで使用する書式、提出する書式の明確化 (掲示する等) がされていない。 ・ご利用者一人ひとりの状況把握を優先してしまい、十分に「～したい」ことに対する把握や聞き取りができていない。 →日々の支援や思いの聞き取りはしているが、状況把握を優先してしまい、半年や1年などの長期的な期間で考えた目標に対する意識が低下してしまっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
毎月のアセスメントを役割分担に入れて、聞き取りの担当をつくり、ご利用者と話す時間を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	8 人	1 人	13 人

前回の改善計画	送迎、訪問時等にご利用者宅に同行し、ご家族とも会う機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	同行がほぼできておらず、ご家族との関係性がしっかりと全職員と構築ができていない。アンケートを渡し、回収できた方は以前の暮らし方を知ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	9	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	11	2	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の状態に応じたケアができています。また、申し送りを含めてご利用者の体調やすべきことを情報共有ができています。 訪問時にご利用者の生活環境の中で介護をする、傾聴することで気持ちや体調の変化に合った支援ができています。 アセスメント時にアンケートをお渡し回答をもらった方は、以前の暮らし方について知ることができている。 その日の状況に応じた即時的な対応、支援ができています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 送迎や訪問時、もう一名の同行ができていない。 →フロアの見守り、夕方の訪問等があり、同行が難しい状況が多い。 以前の暮らし方を把握して覚えきれていないご利用者がいる。また、把握できていない。 →関わりの少ないご利用者の情報を把握できていない。利用者情報から新しい情報を得て職員間で共有できていない。 →認知症等によりご利用者の理解が困難な方に対するアプローチが不足している。 ・アンケートの回答がない方、独居の方の以前の暮らし方が把握できていない。 →アンケートの回収が難しい場合の対応ができていなかった。(回収を求める動き、聞き取りをする等) ・過介助になりがちである。 →自立支援、現存機能の維持に対する意識が低い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
送迎する職員が、パート職員など送迎に行かない職員に声を掛けて送迎に同行していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 11月 21日 (19:30 ~20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	3人	人

前回の改善計画

- ・地域の方との連携をどこまで行って良いかご本人、ご家族に聞いた上で、必要な方に老人福祉員や民生委員とつながりを持つ。
- ・地域資源の研修時に地域の役員さんに参加して頂く、顔の見える関係をつくる。

前回の改善計画に対する取組み結果

令和4年4月の地域資源研修で民生委員、老人福祉員が参加していただいた。つながりは、継続して維持できている。しかし、民生委員、老人福祉員と定期的に顔を合わせる機会は作れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	10	2	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	5	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	9	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	5	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・4月の地域資源研修で民生委員、老人福祉員の方に参加していただき意見交換ができた。
- ・自宅での過ごし方を聞くようにしている。
- ・民生委員等と顔馴染みになってきている。
- ・ご家族とご利用者の関係が切れないように、間に入り支援できている。ご家族と事業所の報告、連絡ができていることが多い。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自宅での暮らしを知らないことが多い。
- プライバシーの観点、個人情報の観点から、自宅で過ごされている際の暮らしぶりをどうやって知るか話し合えていない。
- 地域資源との関わりが持てなかった。
- ご利用者本人、ご家族からの情報が少ない。
- ・民生委員等と連携する機会がない。
- ご利用者の日々変化するケアに対応することを優先しているため、民生委員との目に見える持続的なつながりが設けられていない。直接やり取りする関係ができていない。
- ・ご家族との同居の有無等により、知る機会も限られており、できている方とできていない方がいる。
- 同居されている場合は、ご家族から知ることができている。一方で独居の方はご家族も把握していないため、知る機会が限られており、差が生じている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者様の学区を把握し、民生委員とのつながりを持つようにする。AEDや感染症の研修などを民生委員などにも参加して頂く。利用時に「昨日は何時に寝ましたか」「昨日はどう過ごしたんですか」などを会話中に聞きケース記録に残す。ご利用者が自宅でどう過ごしているか、今までの地域での生活(近隣との関り、よく行く店など)知るために、役割分担に入れて確実に聞き取りができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪 非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	4 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の研修は毎年行っていく。 ・サービス担当者会議前に照会文書を介護職員、看護職員に記載してもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の研修は、今年分はできている。しかし、サービス担当者会議前に照会文書を準備し、介護職員や看護職員に記載する手順ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	5	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	7	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	10	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所だけで支援はせず、地域資源の活用をしている。 ・ケース記録に目を通して、平常時との変化がないか確認している。 ・配食、京都市ゴミ回収サービスなどを活用し、事業所だけで支えようとしていない。 ・入浴したくないご利用者、通いを休みたいと希望される場合、訪問に切り替えるなど柔軟に対応している。 ・ミーティングや連絡ノートで「変化」を共有できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・長期的なニーズに対しては、ある程度対応できているが、その日、その時のご希望に添えていないことがある。 →その日、その時の変化に対して職員の人数、事業所フロアの状態などで対応が難しい時がある。 ・照会文書の記載を介護職員、看護職員でできていない。 →照会文書の準備、記載までのプロセスが明確化されていない。管理者任せになってしまっている。また、サービス担当者会議の開催日が不透明である。 ・ご家族に対応していただくべき手続きなどを事業所で対応している。 →ご家族から「介護のことはわからない」と言われ対応しているためである。 ・ご利用者の状態や変化を見落とししていることが多い。 →ケース記録を確認しているが、見落としや失念してしまっていることが多い。 ・ご利用者本人やご家族など介護者への対応が難しいことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源の研修を年 1 回以上は実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況が収まっていれば、ボランティアの参加やチャレンジ体験の学生受け入れを行っていく。 ・コロナ禍が続くようであれば、リモートでの体操や演奏をして頂ける団体と連携する。 ・地域の会議に参加した際は、会議の報告等を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・10/18～10/20 西賀茂中学のチャレンジ体験2名を受け入れることができた。 ・ボランティアの受け入れもできないこともあり、団体との連携はできていなかった。 ・地域ケア会議など出席した際は、職員会議で報告し、共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所）との会議を行っていますか?	0	2	6	5	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	4	8	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	0	6	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	3	8	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ体験の受け入れをすることができた。 ・管理者が他サービスとの会議に参加している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるレクリエーションの機会が設けられていない。 <p>→機材等により、リモートが難しい。また、ボランティア係が活躍していなかった。また、リモートでのボランティア参加の取り組みができていない、かつ、リモートでできるボランティアを探すところまでできていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会議への参加経験がない。 <p>→管理者が出席してくださっているため。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
救命講習を開催し、ご家族、他事業所の職員、民生委員などに参加していただく機会を設ける。担当を決めて、ボランティアを探す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)
7. 運営	メンバー	常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪 非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	6 人	3 人	13 人

前回の改善計画	・ 広報誌やパンフレットの配布先を増やす(地域包括、他事業所、近隣の商店)
前回の改善計画に対する取組み結果	広報誌は定期的に発行し、ご家族や民生委員などに配布はできていた。しかし、新しい配布先を開拓できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	10	1	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	1	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	5	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	6	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族からの依頼、要望などがあれば、職員会議で検討などを行い、業務に反映していることが多い。 ・マンション前に駐車していた際、近所の方から意見があり、手続きを行った上で邪魔にならないようにすることができている。 ・広報誌は民生委員などに配布している。緊急時の備蓄などを民生委員に伝えている。 ・事業所運営に対し、発言できる場があり、発言しやすい。意見がある時は、連絡ノートに記入して周知している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な地域との協働ができていない。 →日常の業務と細かく分析すれば、協働できていると思うが、色々なところと積極的にとなると、会議等が行えなかったりする今はできていない所も多いと思う。 ・パンフレットなどの配布先を増やせていない。 →業務内では配布先を探すことが難しい。ご利用者と一緒に配りに行くなどの行動ができていない。 ・協働するために、事業所をアピールできていない。 →備蓄が事業所には●●個あるなどを掲示する、マップにする方法などで発信できていない。 ・意見や苦情を言いやすい環境が作れていなかった。 →意見などを発信できるシステム作りや広報が不十分だった。利用当初に苦情窓口などの説明に留まっていた。 ・地域の方からの意見を聞く、受け取るなどなかった。地域の拠点となる取り組みはできていない。 →積極的に情報を集める、意見交換ができていなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご利用者宅の隣人などに挨拶し、できる範囲でパンフレットを渡す。広報誌に事業所をアピールする文面を記載していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 11月 21日 (19:30 ~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	7人	5人	13人

前回の改善計画	地域の連絡会に担当を決めて行けるようにする。(数年単位で交代する)
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の連絡会に担当を決めて参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	10	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	7	1	5	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	12	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、知識を高めることができた。研修以外で勉強会(希望者のみで)を実施し、参加している。 ・毎月、リスクマネジメントをする機会を設けられている。 ・事業所内研修の回数を増やし参加できている。 ・地域の会議にも出るようになった。 ・資格の取得に取り組んでいる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会、外部研修に参加できていない。 →外部研修の案内を確認できていなかった。また、業務時間と重なることが多く諦めてしまっている。地域連絡会は日程がわかっていなかった。 ・気づきに対してヒヤリハット報告書の作成までには至っていない。 →事故やミスなどにつながるヒヤリハット報告書の作成について、記録や口頭での伝達で対応ができてしまっていることも多く、作成にはつながらない。 ・地域の会議の担当制までにはできていない。 →担当制にすることをしていなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修の案内を回覧し、受けたい研修を選んで必ず年1回は外部研修を受けるようにする。ヒヤリハット報告書の提出をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 21 日 (19:30 ~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤：鳴滝、西澤、白数、阿部、岡田、岩本、横江、阪
非常勤：林、三田、三谷、吉田、片岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	個人情報保護、プライバシーの研修を 2 回は行い、意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人情報保護、プライバシーの研修を 2 回開催することができている。研修を 2 回実施したことで、個人情報保護、プライバシーへの意識が一定水準に保たれた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	10	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	10	1	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	10	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修の機会が多くなり、意識が以前よりできている。 ・フィジカルロック、ドラッグロックはしていない。 ・個人情報の扱いが以前よりはできている。 ・虐待は行われていない。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
→職員間で指摘し合っていない。忙しさのせいにして、おざなりになる時がある。意識が低い。 ・研修後、しばらくすると意識が薄れてしまいがちである。 ・排泄表が閉じられていないことがある。＝研修で学び行動につなげられていない。 →研修で学んだことを、職員ひとり一人の注意すべき行動までに落とし込めていない。また、自分がご利用者に行っているケアを俯瞰的に見る機会がない。 ・スピーチロックへの意識をすることが必要	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個人情報保護・プライバシー保護の研修を年 2 回以上、実施する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 柘野福祉会	代表者	酒枝素子	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人柘野福祉会は、京都市内で高齢者福祉施設やサービスを多分野（11分野23事業所）にわたって運営している法人です。38年の歴史があり、地域のニーズに応えるべく、特に地域密着型サービスに重点をおいた事業展開を行っています。小規模多機能型居宅介護も京都市内で最も早く運営を開始した実績があり、現在では4事業所を運営しています。ガーデンハウス上賀茂は、平成27年3月に開設した事業所で、法人の本拠地である柘野圏域であり、地域とのつながりや連携が容易にできるところが特徴となっています。
事業所名	ガーデンハウス上賀茂	管理者	鳴瀧知恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①生活史シート、又はアンケートを初期の面接時にケアマネがご家族に渡す。</p> <p>②ご本人にはご利用初期にケース担当が、アンケートに沿って聞き取りをしていく。</p> <p>③毎月2～3名のアセスメント時に小規模多機能計画も添付して、「～したい」を把握する。</p> <p>④送迎、訪問時等にご利用者宅に同行し、ご家族とも会う機会をつくる。</p> <p>⑤地域の方との連携をどこまで行って良いかご本人、ご家族に聞いた上で、必要な方に老人福祉員や民生委員とつながりを持つ。</p> <p>⑥地域資源の研修時に地域の役員さんに参加して頂く、顔の見える関係をつくる。</p> <p>⑦サービス担当者会議前に照会文書を介護職員、看護職員に記載してもらう。</p> <p>⑧個人情報保護、プライバシーの</p>	<p>①②アンケートに沿って聞き取りができていない。どのタイミングでアンケートを使って聞き取りを行うか明確になっていない。利用するにあたり、契約書類などで多くなってしまい、ご利用者本人やご家族の負担を考えると、面接時に配布ができていない。</p> <p>③毎月のアセスメント時に小規模多機能計画を添付できていなかった。アセスメント書類を準備する際、何を用意するのか明確に掲示などできていなかった。</p> <p>④同行がほぼできておらず、ご家族との関係性がしっかりと全職員と構築ができていない。アンケートを渡し、回収できた方は以前の暮らし方を知ることができている。</p> <p>⑤⑥令和4年4月の地域資源研修で民生委員、老人福祉員が参加していただけた。つながりは、継続して維持できている。しかし、民</p>	<p>地域包括：パート職員も含め自己評価にしっかりと取り組まれている。</p> <p>家族：管理者から事前に説明があり、自己評価はしっかりと取り組まれていると思った。</p>	<p>①初期支援のためのアンケート期間を1か月にして時間をかけてする。ケース担当だけでなく、アンケートを全員で記入する。</p> <p>②毎月のアセスメントを役割分担に入れて、聞き取りの担当をつくり、ご利用者と話す時間を増やす。</p> <p>③送迎する職員が、パート職員など送迎に行かない職員に声を掛けて送迎に同行していき、ご自宅での環境を知る。</p> <p>④外部研修の案内を回覧し、受けたい研修を選んで必ず年1回は外部研修を受けるようにする。</p> <p>⑤個人情報保護・プライバシー保護の研修を年2回以上、実施する。</p>

	研修を2回は行い、意識を高める。	生委員、老人福祉員と定期的に顔を合わせる機会を作れていない。 ⑦サービス担当者会議前に照会文書を準備し、介護職員や看護職員に記載する手順ができていなかった。 ⑧個人情報保護、プライバシーの研修を2回開催することができている。研修を2回実施したことで、個人情報保護、プライバシーへの意識が一定水準に保たれた。		
B. 事業所の しつらえ・環境	①コロナ禍が続くようであれば、リモートでの体操や演奏をして頂ける団体と連携する。	①ボランティアの受け入れもできないこともあり、団体との連携はできていなかった。	地域包括：コロナ禍の影響で事業所に訪れることが少なくなり、しつらえに関してはわからないが、広報誌で分かることはできるので良かった。 地域代表：しつらえに関してはわからない。 家族：実際に目にはしていないが、母が通っている中で最初の1,2回目は抵抗があったものの、今では行くのが当たり前になったいるので居心地が良いのではと思っている。	①担当を決めて、ボランティア等の受け入れを勧めて、開かれた事業所づくりをする。 ②フロア的环境（温度、雰囲気、過ごしやすい設定）などを常に考え、季節ごとに変更していく。
C. 事業所と地域のかかわり	①感染状況が収まっていれば、ボランティアの参加やチャレンジ体験の学生受け入れを行っていく。 ②地域の会議に参加した際は、会議の報告等を行っていく。 ③広報誌やパンフレットの配布先を増やす（地域包括、他事業所、近隣の商店）	①10/18～10/20 西賀茂中学のチャレンジ体験2名を受け入れることができた。 ②地域ケア会議など出席した際は、職員会議で報告し、共有している。 ③広報誌は定期的に発行し、ご家族や民生委員などに配布はできていた。しかし、新しい配布先を開拓できていなかった。	地域包括：「相談しやすい取り組み」に関してはわからないが、民生委員を呼ばれた研修などを開催しており、事業所の周知には取り組まれている。 地域代表：地域との取り組みが分からない。 地域代表：民生委員や福祉員などに説明しても、なかなか分かってもらいにくい。看板もないので、分かりにくい。地域の人と連携できれば利用できる方もいるだろうにと思った。 家族：我々自身も地域との関りが	①ご利用者宅の隣人などに挨拶し、できる範囲でパンフレットを渡す。 ②広報誌に事業所をアピールする文面を記載していく。

			なく、状況も分かっていないので、判断できない。どういう関りをしているかは分からないが、挨拶はしてくれているので、「はい」とした	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①地域資源の研修は毎年行っていく。 ②地域の連絡会に担当を決めて行けるようにする。(数年単位で交代する)	①地域資源の研修は、今年分はできている。 ②地域の連絡会に担当を決めて参加できていない。	地域包括：終野地域の高齢者が建物内に迷いこまれ、地域包括と連携し、対応をすることがあった。 家族：地域との交流は分からない。	地域資源の研修を年1回以上は実施し、地域資源を活用しての支援を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①登録利用者の情報共有は引き続き、会議の中で行い、登録者以外の方についても情報を頂き、当事業所でできることを実践していく。	①運営推進会議で、登録者や登録者以外の情報共有を行った。	地域包括：地域との取り組みに関してはわからない。再開されたサロンの協力をしてもらえることがあれば。	運営推進会議で、登録利用者や地域で支援が必要な方の情報共有を行っていく。また、事業所として地域でできることを話し合っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	①災害時には緊急短期入所を登録者以外の要介護者の方にも利用して頂けるようにする。	①今年度、災害時の短期入所の実績はなかったが、受け入れ体制はとることができている。	地域包括：雲ヶ畑の高齢者に対して、6～9月の大雨の時期に宿泊利用を事前に呼び掛けてもらうことができ安心できた。 地域代表：コロナ禍の影響あり、地域との防災訓練ができないのは仕方ない。 家族：防災は心配なこともある。対策も知らないなので、ネガティブな意見になった。	①災害時には緊急短期入所を登録者以外の要介護者の方にも利用して頂けるようにする。 ②救命講習を開催し、ご家族、他事業所の職員、民生委員などに参加していただく機会を設ける。 ③災害時の対応について、ご家族に説明を行っていく。

